

寺報

No.684

令和6年8月

蓮華寺
發行

御聖訓

南無妙法蓮華經の題目の内には
 一部八卷二十八品六万九千三百
 八十四の文字一字も、もれず、か
 けず、おさめて候う。

『妙法尼御前御返事』



(解説)

「お題目の中には一部八卷・二十八品・六万九千三百八十四の文字が、すべて納められている。だから我々が一度お題目を唱えたと、法華經一部を読んだのと同じ功德となる。それだけお題目を唱えるところは大事な事である。」と日蓮大聖人は力説されました。

それは、お釈迦様が説かれた教えの中で、法華經こそが諸經の王であり、その文字のすべてがお釈迦様の魂が込められたものだからなのです。

ですから、我々が求める心が強ければ強いほど、お力を貸してくれますし、また心の支えともなってくれるのです。

これからも、我々には様々な困難が降りかかるかも知れませんが、どんな苦しみや悲しみの中でも、南無妙法蓮華經のお題目を唱える事で克服出来ます。

更に、靈神符（毎月のお守り）を身に着ける事でお釈迦様・日蓮大聖人・諸天善神は我々を常に守護し続けるのです。

お盆の日程

当山では次の日程でお盆行事を執り行います。

十二日(月)

午前十時半頃

※当山の永代供養塔・水子観音・動物供養塔・日蓮大聖人銅像・浄行菩薩等のご供養

十三日(火)

午前六時～午後二時半迄

※三内霊園墓経【他の霊園には参りません】

※位牌堂【住職・對馬上人が待機しますので、お経が依頼出来ます】

十四日(水)～十六日(金)

※旧市内の棚経 午前八時～一日中

【十三日～十六日迄の間の法要、ご祈祷などはお寺とご相談の上で決めて下さい】

十七日(土)～二十日(火)

※檀家よりご依頼のある新市内の棚経

【ご希望の方は、あらかじめご予約下さい】

二十一日(水)

※『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

【お盆の最後の行事です、必ず参拝・お焼香下さい】

◎詳細は事務所まで。

☎ 776-5840

お盆の棚経のお願い

例年蓮華寺では、お盆の棚経（各家を回りお経を上げる）を八月の十四日より十六日まで青森の『旧市内』を回り、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家を回っております。

しかし、お盆は一週間の期間しかありませんので、数多くは回れないのが現状です。

特に最近では青森も住宅事情により、各家庭が新市内へと移動して行きました。

その点、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

でも十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なわなければならない状況から、多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようにお願い致します。

なお、それ以外の方は、例年通りの日時にお伺いする

予定です。

また毎年お盆になりますと、檀家さんから「お経が短い」「棚経を忘れられた」とお叱りをよく受けます。

お盆は、限られた期間、限られた人数が、限られた時間に対応しなければなりませんので、お経が短くなります。まず事をご理解戴き、何とぞご容赦願いたいと思います。

特に本年は僧侶が例年よりも少ない状態です。

新人のお坊さんが勘違いをしまして、まれに落とす場合があるかも知れませんが、その時はすぐにお寺にご連絡下されば善処致します。

また皆様も、お正月に求めて戴く『ご守護札』を、玄関にしっかりと張っておいて下されば、はずす事はないと思いますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

お盆の追膳（位牌堂・三階永代供養堂）

*十四日・十五日・十六日の三日間・・・千五百円数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。（受付中）

施餓鬼供養会

八月二十一日(水) 昼十二時半より当山の年に

一度の『施餓鬼供養会』が行われます。

お施餓鬼には、皆様の先祖代々の精霊や新盆（昨年のお盆以降の仏様）に当ります仏様の供養はもちろんですが、特に普段から供養の行き届いていない精霊にもお塔婆を上げて供養する事が大切です。

例えば、水子の霊・地主の霊・土地に縁する処の精霊・自分に頼る処の精霊・畜生類の霊などです。

特に『畜生類の霊』には、皆様が可愛がつていたペットや、日頃我々の身を養ってくれる牛・豚・鳥などの動物、お魚等の生き物の霊が上げられます。

皆様が、家族同様に愛情を注がれ、時に心をなごましてくれた愛犬や愛猫などのペットの霊、また我々の為に、その生命を犠牲にしてくれた生き物の霊、これ等への感謝も忘れてはいけません。

我々日蓮宗の檀信徒は、仏様の命を受け継ぐ総ての生き物を、法華経・お題目の力によって、救って上げなければいけない使命があります。

日蓮大聖人は「我々が塔婆供養をしますと、そこにもし北風が吹けば、南の海に住む魚がその風に当たって大海の苦しみから離れる事が出来る。そして東風が吹けば、西の山に住む鳥や鹿などの動物が、その風を受けて畜生道を免れる事が出来る。また、すでに亡くなられたご両親が、例えどんな暗闇の世界にいたとしても、太陽や月が闇を明るく照らすように、この塔婆の功德によつて必ず浄土に行ける。」と教えています。

どうか皆様も、自ら法要に参列し、ともにお題目とお経を唱え、心からお焼香をするようにしましょう。

見えなくとも お花を供えたい
食べなくとも 美味を供えたい
聞こえなくとも 話したい
見えざるものへの 真心は美しい

* 塔婆供養・・・一霊千円



水着にも必ずお守りを！

せっかくの楽しい夏休みも子供さん、お孫さん達に事故があつては大変です。

特にお守りを身に着けられない、海やプールは危険で何が起るか分かりません。

ご家族の方が工夫して、お守りを濡れないようにラップなどに包み、水着のポケットに着けて下さい。

また、水着にポケットがない場合は、水着に簡単な袋などを作つたりして、必ずお守りを着けさせるようにして下さい。

水着用に、お守りを一枚別に用意しておくとお便利だと思います。



④「お守りを持つていつでも、子供が中々身に着けてくれない」とよくお話を聞きますが、無理に首に下げさせなくてもよいですから、工夫してポケットや肌着などに着けてもらい、決して身体より離さない事だけのご指導して下さい。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(注)管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで！

『霊断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

④必ずご予約下さい。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」のお勤め中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・【寺報】等の援助などにも活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

ご首題帳(ご朱印帳)

当山では、季節ごとに新たなデザインのある『首題』を用意していますので、どうか、ご利用下さい。

お盆中の朝のお勤め

お盆期間中は、毎朝六時半からの『朝のお勤め』は時間を短縮して行いますので、ご了承下さい。

お盆中の十三日のお勤め

毎月十三日の午後一時に執り行われています『日蓮大聖人』のご命日法要は、八月は『お盆』の関係で十日(土)の日に行いますので、お間違いないようにお参り下さい。

お盆棚経のお知らせ

例年、棚経を回っていました『角田堯現』上人は、今年、日蓮宗総本山【身延山】で行われます「信行道場」で、八月八日より九月十一日までの三十五日間修行しますので、残念ながらお盆期間はお休みとなります。



『霊神符』を持ちましょう！

最近思いもよらない事故や災害が多発したり、特に子供さん達が巻き込まれる悲惨な事件も増えてきています。

檀信徒の皆様も「私だけは絶対大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の霊神符(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。

『提灯』の募集！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トローロー)を募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

水子さんのご供養

今年もご供養の為に、当山境内地の『水子観音様』に【風車】を上げて下さい。
一体七百年で、葉の部分に供養の言葉や名前が書けますので、事務所までお申込み下さい。



八月の行事

一日(木) 盛運祈願会

午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十日(土) 日蓮大聖人のご回向

午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ ⑨八月はお盆の為、十日の日にご回向しますので、お間違いないようにご参拝下さい。

十三日(火) 二十日(火) 『お盆』

2頁参照

二十一日(水) 【施餓鬼供養会】

⑨昼十二時半より

二十八日(水) 甲子【大黒様の日】

朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

お盆の追膳

- 十四日(水) ⑨『お盆の追膳』のお手伝いは、朝【午前六時～七時半】夕【午後三時～五時】です。お手伝い出来ます方は檀信徒のどなた様でも結構です。時間迄に集合下さい。
- 十五日(木)
- 十六日(金)

十八日(日) 施餓鬼供養会の準備

・ 男女共・午前十時半より

二十一日(水) 施餓鬼供養会のお手伝いと後片付け

・ 男女共・午前十時より

*お施餓鬼は、先祖供養の為の精霊棚や流し供養の船の準備、また塔婆供養の仕度などがあります。

ご先祖の為に、ご奉仕をよろしくお願い致します！

教宣部長・杉淵昌三

★今月は『檀信徒研修会』はお休みとなります。

施 餓 鬼 供 養 会

八月二十一日 (水)

昼十二時半より



(追善塔婆供養)

- * お塔婆のお申し込みは各霊一霊につき千円です。
- * 新盆の仏様は必ずご供養してあげましょう。
- * 当日はお忙しくとも、法要に参列し、お焼香し一緒にお経・お題目を唱えるようにしましょう。
- * お経は
 - ◎ 如来寿量品第十六・真読 (漢 字読み)
 - ◎ 提婆達多品第十二・訓読 (日本語読み)中ごろ「大智徳勇健にして～」を読みます
【②お経本を用意して下さい】
- * お供物も受け付けています。